

法学協会雑誌

第132巻 第3号

論 説

『実体』法の実現における『手続』の役割

—アメリカ連邦裁判所の民事手続制定過程を巡る議論から (1)

高橋 脩一

会社更生法における「公正かつ衡平」の意義について (4)

栗原 伸輔

判例研究

最高裁判所民事判例研究 (民集 67 巻 4 号)

東京大学判例研究会

2015

最高裁判所民事判例研究

民集六七卷四号

東京大学判例研究会

八 債務整理に係る法律事務を受任した弁護士が、特定の債権者の債権につき消滅時効の完成を待つ方針を採る場合において、右方針に伴う不利益等や他の選択肢を説明すべき委任契約上の義務を負うとされた事例

瀬戸口祐基 五三

法学協会雑誌(第一三三卷) 内容

論 説

疾病による労務提供不能と労働契約関係の帰趨

—— 休職・復職過程における法的規律の比較法的考察 (一一)

横浜国立大学専任講師 石崎由希子

会社更生法における「公正かつ衡平」の意義について (三二)

北海道大学准教授 栗原伸輔

判例研究

最高裁判所民事判例研究 (民集六六卷三号)

東京大学判例研究会

法学協会雑誌(第一三三卷) 予告

論 説

疾病による労務提供不能と労働契約関係の帰趨

—— 休職・復職過程における法的規律の比較法的考察 (一一)

横浜国立大学専任講師 石崎由希子

「実体」法の実現における「手続」の役割

—— アメリカ連邦裁判所の民事手続制定過程を巡る議論から (一一)

立教大学兼任講師 高橋脩一

フランスにおける「契約の法性決定」(三三)

東京大学教授 森田 修